

科目名	グローバルインターンシップ (機械システム工学コース)	英文表記	Global Term Internship			2014/3/14
科目コード	6022					
教員名:【機械】中本正一朗 技術職員名:						
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・機械システム工学コース	専2	選	学修	2単位	実習	集中講義
科目目標	①海外経験を通した異文化に対する理解を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 ②習得した語学力や異文化理解を通し、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。					
総合評価	研修(日報による評価30%)および研修先の評価(50%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する。60%以上を合格とする。					
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合
	① 海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。(A-3, A-4, B-1, B-2, B-3)			⇒ 研修(日報による報告)(30%) 研修先評価 (30%)		60%
	② 異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。(A-3, A-4, B-1, B-2, B-3)			⇒ 研修先評価		20%
	③ 海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。(A-3, A-4, B-1, B-2, B-3)			⇒ 研修報告による評価		20%
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学
	○	◎			JABEEプログラム教育目標	A-3, A-4, B-1, B-2, B-3
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合						
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)
評価項目			0	0	60	40
基礎的理解		①			10	10
応用力(実践・専門・融合)						0
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①②③			30	20
主体的・継続的学修意欲		①②③			20	10
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 履修を希望する学生は、科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 実際の現場を体験することで、実践的語学力や専門的な技術を理解する。 海外経験を通した異文化に対する理解を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 学校教育と就業体験の結合により、より高いグローバル意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 習得した語学力や異文化理解を通し、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。 					
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料					

授業計画										
週	授業項目	時間	授業内容	自学自習(予習・復習)内容	セルフチェック					
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス							
2	インターンシップ先研究	9	企業研究、大学受け入れ先検討							
3	インターンシップ	70	約2週間の企業研修・大学での研究・語学研修プログラム							
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報告							
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
期末	期末試験	[0]								
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
期末	期末試験	[0]								
学習時間合計		90	実時間	67.5						
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)						
①	レポート(実務内容に沿ったレポート・調査・日報を課す。)			各3時間×15回						
②										
③										
備考欄										
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述)										

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)